

2014
July

学生だより

vol.35

発行人/金澤 紀子 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <http://www.jdha.or.jp/>



継続した学びは
人間を豊かに

東京歯科大学歯科衛生士専門学校



九州医療専門学校 歯科衛生士科



小山歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科



八戸歯科衛生士専門学校



愛知学院大学短期大学部 歯科衛生学科

P4・5に各校の学校紹介、学校自慢を掲載しています。



M e s s a g e

口腔機能向上で
食べる幸せ、話す喜び
— 歯科衛生士がサポートします —

公益社団法人 日本歯科衛生士会
会長 金澤 紀子

歯科口腔保健は、乳幼児期から高齢期まで、健康な時も、病気の時も、障害があっても、要介護となっても、生涯を通じて、すべてのライフステージにおける健康課題です。

歯科衛生士は、歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を図ることを目的として、「歯・口腔疾患の予防処置」「歯科診療の補助」「歯科保健指導」による歯科衛生業務を実践し、全身の健康やQOLとの関係に基づく口腔ケア、さらには“食べる”“話す”など、生活の中の口腔機能をサポートすることが求められています。

そのため、歯科医師をはじめ他の医療職、介護職とも連携し、チーム医療やチームケアにおいて歯科衛生士の専門性を発揮することが大切です。学生時代にしっかりと知識・技術を習得し、コミュニケーション力を高めましょう。今、歯科衛生士の活躍に期待が高まっています。皆さんの出番です！

輝け 未来の 歯科衛生士

学 生
紹 介

今回お話を伺った4名の学生さんは、クラスメイトと共に力を合わせ、お互い励まし合いながら歯科衛生士を目指しています。歯科衛生士業務の幅広さや、果たす役割を学びながら、充実した日々を送っています。さらに経験を積み、患者さんに信頼される歯科衛生士になってください。応援しています。



秋田県歯科医療専門学校
歯科衛生士科 3年

むら かみ あや
村上 彩さん

秋田県立西目高等学校卒業

1
Answer

歯科衛生士という職業を考えるようになったのは、高校で進路に迷っていた時期です。初めは特に憧れというものはないのですが、調べていくにつれてとても魅力的に感じてきました。一番の理由は国家資格であるということと、女性ならではの細かい気遣いを生かせると思ったからです。そして歯科衛生士はさまざまな所から必要とされていると知ったからです。

2
Answer

歯科医師のお手伝いをするお姉さんというイメージでした。しかし、実際学んでみると予防歯科や歯科保健指導など歯科衛生士が中心となり行っていることも多いのだと知りました。また、一般の歯科医院だけではなく企業や介護施設、県の職員などとして幅広く活躍していることが分かり、最初のイメージと今ではとらえ方が大きく変わりました。

3
Answer

初めころは、授業で飛び交う専門用語に戸惑うばかりでしたが、理解できるようになってくると学ぶ楽しさを感じるようになりました。2年生の後半に入ると本格的に臨床の現場での実習が始まり、歯科医師や歯科衛生士の方々から多くのものを得ることができています。大変なことも多いですがその分収穫することも多いので日々充実感で一杯です。

4
Answer

患者さんから発信される小さなサインや歯科医師、スタッフが求めていることに気づくことができ、広い視野を持った歯科衛生士になりたいです。周りをよく見るには、自分に余裕がないとできないと思いますので、余裕を持てるように自分の能力も伸ばしていきたいと思っています。そのために今から多くの経験を重ねて成長していきたいです。



1
Answer

私は医療系の職業に就きたいと思っていました。小さいころから歯科医院に通う機会が多く、いつもやさしく話しかけてくださる歯科医院のお姉さんを素敵だと感じ、歯科衛生士の仕事に興味を持ちました。また、歯科衛生士は国家資格でもあり、将来ずっと続けられる職業だと思い目指しました。

2
Answer

入学前は、歯科医師のアシスタントだけが歯科衛生士の仕事だと思っていました。しかし、実際の活躍の場は広く、勉強も歯のことだけではなく全身のことや栄養についてなど、たくさんことを学び、勉強量の多さに驚きました。しかし、これらは歯科衛生士にとって必要なことであり、だからこそのいろいろな場面で活躍できるのだと感じました。

日本ウェルネス歯科衛生専門学校
3年

つち や み ゆ
土屋 美有さん

川越市立川越高等学校卒業



3
Answer

入学前は専門的な勉強についていけない不安でした。入学後も難しさに悩み、辞めようと思ったこともありましたが、クラスメイトに恵まれ、仲良く助け合いながら乗り越えてきました。また、臨床実習を経験することで自信も少しずつついてきました。先生方も熱心に指導してくださり、今は国家試験の勉強に励んでいます。

4
Answer

病院での治療は多くの人が緊張し、不安になることもあると思います。そのような時「あの歯科衛生士さんに相談してみよう、質問してみよう」と思っただけのような歯科衛生士を目指して頑張っていきたいです。歯科医師と患者さんをつなぐ大切な架け橋になりたいと考えています。



アンケート内容

Q1 歯科衛生士を目指した動機

Q2 今までの歯科衛生士に対するイメージ

Q3 学校生活について

Q4 将来どんな歯科衛生士になりたいですか？



大阪歯科衛生士専門学校
3年

もりぐち はるか
森口 春佳さん

奈良県立香芝高等学校卒業



1 Answer 歯科医院に通っていた小学生の時、緊張していた私に歯科衛生士さんが、緊張がほぐれるようにいろいろな話をしてくださいました。
自分の進路を考えている時、ふとその事を思い出して歯科衛生士について調べてみると、将来的にも安定しており、人の役に立てるとても魅力的な職業だったので、歯科衛生士になりたいと思いました。

2 Answer 以前は、歯科医院に勤め、歯科医師のアシスタントをしている...というイメージしかありませんでした。しかし、実際は病院や保健所、老人保健施設などさまざまな現場で歯科衛生士として自立し、口腔のリハビリや歯石除去、ブラッシング指導などを行っていることを知り、人の役に立てるとても素晴らしい職業だと思いました。

3 Answer 高校とは全く違い、専門的な授業や2年生の10月からは臨床実習も始まり、歯科医院や病院、保健所、老人保健施設などさまざまな現場で実際に活躍されている歯科衛生士さんの姿を見て、とても良い勉強になっています。辛い時もありますが、歯科衛生士という同じ目標に向かって歩む友人たちとお互に励まし合いながら頑張っています。

4 Answer 患者さんにとって一番身近な存在が歯科衛生士だと思います。歯科医師に話せないことでも、歯科衛生士に気軽に話していただけるようコミュニケーションをとり、患者さんに安心して治療を受けていただけるように努力したいです。また、笑顔を絶やさず、歯科医師やスタッフ、患者さんから信頼される歯科衛生士になりたいです。



山口県高等歯科衛生士学院
3年

おがわ けいこ
小川 景子さん

歯科助手として歯科医院に勤務



1 Answer 私は、他の専門学校で医療事務や秘書などの資格を取得後、歯科助手として歯科医院に勤務していました。スタッフの一員として、子どもから高齢の方まで多くの人と関わる中で、もっと深く学び、歯科衛生士として直接患者さんと接し、口腔ケアや指導に携わりたいと考え、生涯の仕事として歯科衛生士を目指すことを決意しました。

2 Answer 歯科医師の診療の介助や口腔ケアをするといったイメージがありました。しかし、学校で学ぶ専門分野の講義は自分が思っていた以上に幅広いものでした。そのことから歯科衛生士の役割は、口腔だけでなく全身の健康に大きく関わっている重要な業務内容であり、やりがいのある仕事であることに、とても魅力を感じています。

3 Answer 入学前は年齢の違うクラスメイトとの学校生活に不安がありました。しかし、同じスタートラインに立ち専門分野を基礎から学んでいることが仲間たちと共に悩み、支え合う環境を作ってくれました。いつも互いに協力し合い、支え合っている仲間たちと、何事にも親身になって指導して下さる先生方に感謝する日々を過ごしています。

4 Answer 歯科衛生士を目指したきっかけの一つに、高齢の方との関わりがありました。学校でのさまざまな勉強や体験を通し、高齢化社会の中で求められている訪問歯科診療に携わりたいという思いが強くなりました。
口腔ケアや指導・訓練を通して患者さん一人ひとりに応じた関わりができ、信頼される歯科衛生士になりたいと思います。



愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科



いいよその調子



自分の考えもしっかり伝えてね



台湾からの留学生と一緒に
はいポーズ!



臨床実習では 患者さんに感謝



高齢者施設で盆踊りに飛び入り参加



卒業おめでとう! 達成感の笑顔です



歯・薬との合同カフェテラス



愛知学院っ子は、とにかく“元気で明るく、ちょこっと人なつっこい(名古屋弁かな?)”学生です。建学の精神、特に仏教の禅的精神「行学一体・報恩感謝」は「知識を磨き、人を磨くことは一つ」とし、患者さんや歯科医療に携わる人に多くふれあいながら人との繋がりを大切に学修しています。また「感謝の生活」ができる社会人をめざし、人々の健康を願い歯科医療界に貢献し、使命感あふれる歯科衛生士になれるよう学生と先生が一体となり日々取り組んでいます。



学校法人 九州アカデミー学園 九州医療専門学校 歯科衛生士科



鳥栖スタジアム



ボランティア活動



クラブ活動

学園祭



研修旅行



摂食嚥下体操



臨地実習



技工士科との交流授業



学内実習



華道

本校は九州の交通の中心で、住みやすい街九州No1。サガン鳥栖のホームスタジアムもある鳥栖市にあります。現在、医療系の5学科からなり、中でも歯科衛生士科は47年の伝統ある学科です。また、『人に寄り添う教育と心身の健康を育む、文武両道の精神のもと、医療・福祉のスペシャリストを育成』という教育目標で、他科との交流授業や、スクールゼミの開催で医療の幅広い知識を習得し、また、学園祭、クラブ活動やボランティア活動をとおして、人間力の育成にも取り組んでいます。



学校法人 産業教育事業団

小山歯科衛生士専門学校



校舎



授業風景



校内実習風景



校内実習風景



休み時間のひと時



スポーツ大会



うづま祭 (学校祭)



ブラッシング教室

本校は医療・福祉系 6 学科を擁する学校法人産業教育事業団が、平成 22 年に開校した学校です。そのため、スポーツ大会やうづま祭 (学校祭) 等は合同で実施しており、姉妹校の学生との交流を図ることができます。また、基礎をしっかり身に付け、最新のシミュレーションシステムにてリアルな実習を行うカリキュラムにより、知識・技術を備えた歯科医療のスペシャリストを育成します。

<http://www.oyamashika.ac.jp/>



学校法人あずま学園

八戸歯科衛生士専門学校

Hachinohe Dental Hygienist College

本校は平成 21 年に開校し、今年で 6 年目を迎えました。

教育理念である、医療人としての歯科衛生士の育成・社会人としての歯科衛生士の育成・人としての歯科衛生士の育成を目指し、教科書だけでは学ぶことの出来ない多くを学ぶべく、人体解剖の見学実習や、車いすの体験・介助実習に加え、作品を楽しみながら作ることによって「脳が活性化→生きる意欲が湧いてくる」という今注目の臨床美術を取り入れています。歴史は浅いですが、これから素晴らしい伝統を築いていこうと奮闘中です。



学園祭



新入生歓迎行事



授業の様子

燈火式



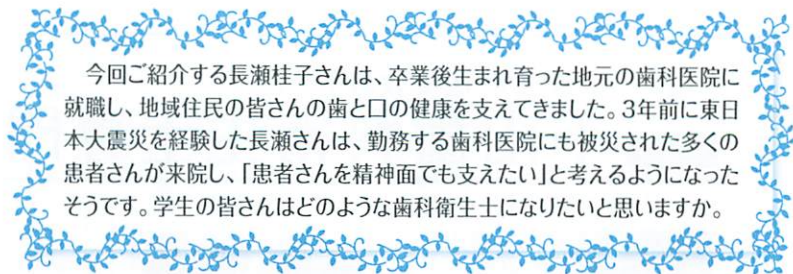
臨床美術



出会いこの人

FILE 13

長瀬 桂子さん (岩手県歯科衛生士会)
ちば歯科医院(大船渡市)



今回ご紹介する長瀬桂子さんは、卒業後生まれ育った地元の歯科医院に就職し、地域住民の皆さんの歯と口の健康を支えてきました。3年前に東日本大震災を経験した長瀬さんは、勤務する歯科医院にも被災された多くの患者さんが来院し、「患者さんを精神面でも支えたい」と考えるようになったそうです。学生の皆さんはどのような歯科衛生士になりたいと思いますか。

歯科衛生士を目指したきっかけ

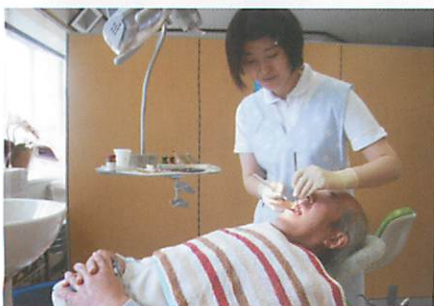
皆さんは卒業後の進路について、どのようなお考えをお持ちでしょうか？

私が歯科衛生士を目指したきっかけは、進路に迷った高校2年の秋、母に勧められたことでした。それまでは「歯科衛生士」という職業を知らず、歯科医院で働いている人といえば歯科医師・歯科助手・受付くらいの認識でした。専門の勉強をして資格を取らなければならないと知った時、歯科医院で優しく丁寧にブラッシング指導をしてくださった方のことを思い出しました。私も「指導してくださった方のように、人から感謝されるような仕事に就きたい」と思い、勉強を開始しました。

専門学校入学後は、素晴らしい先生方や友人たちに恵まれ、厳しい実習も乗り越えることができました。そして「感謝されるような歯科衛生士」を目指して地元の歯科医院に就職しました。

仕事の内容

岩手県陸前高田市の歯科医院では、診療補助・保健指導・予防処置といった院内の業務のほかに、市の乳幼児健診の保健指導・委託を受けた学校でのブラッシング指導などにも携わりました。また、協力歯科医として委託された介護老人保健



施設では、多職種の方々と関わりを持つ中で、学校で学んだ以上に勉強しなければならぬことを痛感しました。



やりがい、魅力

歯科医院に通院される患者さんは、歯周病や義歯作製希望の高齢者が多く、治療後に、「痛みがなくなってしっかり噛めるようになったよ」「歯ぐきから出血しなくなってスッキリした」と言ってくれ、治療のお手伝いができて良かったと思います。治療の結果も確認することができ、感謝していただけるということは、やりがいにもつながります。

長年働く中で、職場に歯科衛生士が一人の時期もありました。悩みがある時など相談するのは、歯科衛生士会の同じ支部で活動する仲間たちでした。研修会や衛生週間のイベントなどで会う機会も多く、悩みを共有し情報交換もできますので、支部長を務める現在もいろいろ支えていただいています。

約20年勤めた歯科医院ですが、東日本大震災による津波で全壊し、院長先生は亡くなりました。当日避難所でラジオから聞こえてきた「陸前高田市壊滅」という言葉は今でも忘れられません。患者さんも多数お亡くなりになり、ご遺族の方から「口の中の状態を覚えていないか」と連絡が入ったこともありました。



支部の皆さん

私は、その年に現在の歯科医院に移りましたが、しばらくの間はたくさんの方々が来院されました。特に多かったのは、義歯を流されてしまった方からの依頼です。また、環境が変わってしまったためか、歯の疼痛・歯肉の腫脹を訴える方も多く見受けられました。3年以上経過した今では来院者数もだいぶ落ち着きました。しかし、お話をしていると突然涙を流される方もいらっしゃいます。主訴の治療はもちろんですが、同時にメンタル面のケアもできたら…と思っています。



学生さんへのメッセージ

歯科医療の進歩等、その時々で求められる歯科衛生士像も変わるものだと思います。卒業後も学ばなくてはならないことはたくさんありますが、学校での勉強が基礎になります。大変だと思いますが、しっかり勉強してください。授業以外にも、学ぶ場はたくさんあります。いろいろなことに興味を持って、いろいろな体験をしてください。そして何事にも臨機応変に対応できる歯科衛生士になってください。応援しています。

Profile

プロフィール

ながせ けいこ
長瀬 桂子さん



1990年
岩手県立衛生学院 歯科衛生学科卒業

1990年
村上歯科医院勤務

2011年
ちば歯科医院勤務
現在に至る

大会スローガン

「第71回学童歯みがき大会」レポート

「めざせ! 元気なお口! 元気なカラダ!」

平成26年6月4日(水)「第71回学童歯みがき大会」が開催されました。昭和7年に第1回大会が開催され、戦争による中断がありました。今年で71回目を迎えました。第69回からは、インターネットで参加する全国規模の大会として、国内だけでなく、海外の小学校も参加しています。今年は国内1,145校、海外では韓国やシンガポールなどのアジア8カ国から17校、あわせて1,162校、約6万6千人の児童が参加しました。また、歯科衛生士養成校15校の学生も近隣の小学校に出向き、インターネット配信と一緒にしながら参加しました。

今年も明海大学学長の安井利一先生監修のもと、「みるぞ! みかくぞ! つくるぞ元気!」をテーマに歯と口の健康教室を行いました。クイズや健康チェック、歯ぐきの観察など、児童が楽しく、興味を持って参加できるようなプログラムになっており、歯のみがき方ステップアップ講座では、例年の歯みがきに加えてY型ホルダータイプのデンタルフロスを使ってフロッシングの実践練習も行いました。

大会が始まる直前までは、歯科衛生士養成校の学生と児童はお互いに緊張している様子でしたが、一緒にクイズに答えたり、歯や口、生活習慣について学生から積極的に話しかけることで児童とコミュニケーションがとれ、たくさんの笑顔を見ることができました。

同じ学年の児童でもこの時期には個人差が大きいこと、一人ひとりの萌出状態や能力に合わせて指導することの難しさと大切さを理解することができたようでした。

1時間という短い時間でしたが、インターネットを通じてたくさんの小学生と一緒に、口とカラダの健康について考える、とても貴重な時間を楽しく過ごすことができました。そして、大会終了後はサポートが足りなかった点を振り返り、今後の課題を見つけ出すことができましたようです。

(東京歯科大学歯科衛生士専門学校 白鳥たかみ)



日本歯科衛生士会からのご案内

日本歯科衛生士会は創立60余年を迎え、国民の健康と福祉に貢献することを目的に、歯科衛生士の職能団体として歴史とともに歩んでいます。全国47都道府県歯科衛生士会と連携を図りながら、歯科衛生士のキャリアアップを支援し、教育や業務の向上に取り組む活動を行っています。

歯科衛生だより

公共機関、公共図書館、関係団体および全国の会員と学生会員にお届けする機関紙です。年6回偶数月に発行しています。歯科保健医療分野での歯科衛生士に関連する情報、研修会のお知らせ、学術大会の開催情報など、歯科衛生士に関連する歯科界の動向をすばやく把握できるようなニュースを提供しています。



学生だより

歯科衛生士を目指す全国の学生の皆さんのための機関紙です。夏と冬の年2回発行しています。歯科衛生士養成学校の様子や在校生の紹介、歯科衛生士業務に関する記事、日本歯科衛生士会の事業紹介などの情報をお届けします。

ホームページ

「歯科衛生だより」と同様、Web上で日本歯科衛生士会の活動や、歯科衛生士に関連情報をお知らせします。学生の皆さんも、ホームページをのぞいてみてください。

<http://www.jdha.or.jp>



学生会員は同時に、日本歯科衛生学会の学生会員にもなります

日本歯科衛生士会では、在学中から本会の活動に触れることにより、卒後の業務に適應する能力を養うことを目的に、学生会員を設置しています。学生会員としてご入会いただいた方には、機関紙「学生だより」「歯科衛生だより」や、「日本歯科衛生学会雑誌」のお届けをはじめ、「歯科衛生士手帳」の配付をしています。また、卒業後も継続して日本歯科衛生士会にご入会いただく場合には入会金の免除などのメリットがあります。入会に関しては、学校を通し各都道府県歯科衛生士会にお問い合わせください。

学生会員会長表彰

在学中に学業等優秀な成績を修め、かつ学生としての品位を保ち、社会的な歯科保健活動に積極的に関わり他の学生の模範となった学生に、学生会員会長表彰を行っています。表彰は卒業時に表彰状の授与をもって行われます。昨年度は83校83名の方が表彰されました。

学生会員証

学生会員として入会いただいた方には「平成26年度 学生会員証」をお送りしています。学生会員証には学校名、学年が記載されています。お手元に届きましたら学年の横に(写真のように)ご自身で、都道府県名とお名前を記入してください。

この学生会員証は学生会員であることを証明するものです。日本歯科衛生士会が開催する研修会や日本歯科衛生学会学術大会に参加する場合は必ず学生会員証をご持参ください。また、学生会員の皆さんが卒業し日本歯科衛生士会に入会する時は、入会金免除の特典(卒業後1年以内)を受けるための証明になりますので、紛失することのないよう大切に保管してください。



生涯研修から認定証の交付まで

日本歯科衛生士会では、卒後の継続学習として歯科保健医療ニーズの変化および技術の進歩にともなう臨床的・実践的な知識・技術の修得を図り、専門分野において水準の高い業務を実践できる人材育成を目的に、生涯研修制度を実施しています。平成20年度からスタートした認定歯科衛生士制度規則に基づき、昨年度までに延べ2,689名に認定証が交付されました。



お便りお待ちしております

楽しい紙面作りのために、皆さまのご意見や、学生生活の中でさまざまな情報をお寄せください。

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-11-19 日本歯科衛生士会「学生だより」編集係
TEL:03-3209-8020 FAX:03-3209-8023

<http://www.jdha.or.jp>